



令和6年12月
港区立港南中学校
校長 佐々木 希久子
“こころ”のサポーター 夏目 富美子

“こころ”のサポーターだより



<ある少年に起きたクリスマスの奇跡>

その先生が5年生の担任になった時、服装が不潔でだらしく、どうしても好きになれない少年が1人いた。中間記録に先生は、少年の悪いところばかりを記入するようになっていた。ある時、少年の1年生からの記録が目止まった。「朗らかで友達が好きで、人にも親切。勉強もよくでき、将来が楽しみ」とある。間違いだ、、、。他の子の記録に違いない。先生はそう思った。2年生になると「母親が病気で世話をしなければならず、時々、遅刻する」と書かれていた。3年生の後半の記録には「母親が死亡。希望を失い、悲しんでいる」とあり、4年生になると「父は生きる意欲を失い、アルコール依存症となり、子どもに暴力をふるう」とあった。先生の胸に痛みが走った。ダメだと決めつけていた子が突然、深い悲しみを生き抜いている生身の人間として、自分の前に立ち現れてきたのだ。先生にとって、目を開かされた瞬間であった。放課後、先生は少年に声をかけた。「先生は夕方まで教室で仕事をするから、あなたも勉強していかない？わからないところは教えてあげるから」少年は初めて笑顔を見せた。それから毎日、少年は教室の自分の机で予習復習を熱心に続けた。授業で少年が初めて手をあげた時、先生に大きな喜びが湧き起こった。少年は自信を持ち始めていた。クリスマスの午後だった。少年が小さな包みを先生の胸に押しつけてきた。あとで開けてみると、香水の瓶だった。亡くなったお母さんが使っていたものに違いない。先生はその一滴をつけ、夕暮れに少年の家を訪ねた。雑然とした部屋でひとり本を読んでいた少年は気がつくとも飛んできて、先生の胸に顔を埋めて叫んだ。「ああ、おかあさんの匂い！今日は素敵なクリスマスだ」6年生で先生は、少年の担任ではなくなった。卒業の時、先生に少年から1枚のカードが届いた。「先生は僕のお母さんのようです。そして、今まで出会った中で、一番素晴らしい先生でした」それから6年。また、カードが届いた。「明日は、高校の卒業式です。僕は5年生で先生に担当してもらって、とても幸せでした。おかげで奨学金をもらって、医学部に進学することができます」10年を経て、またカードがきた。そこには先生と出会えたことへの感謝と父親に叩かれた体験があるから、患者の痛みがわかる医者になれると記され、こう締めくくられていた。「僕は5年生の時の先生を思い出します。あのまま、ダメになってしまう僕を救ってくださった先生を神様のように感じます。大人になり、医者になった僕にとって最高の先生は、5年生の時に担任してくださった先生です」そして1年。届いたカードは結婚式の招待状だった。「母の席に座ってください」と1行、書き添えられていた。（『致知』編集部の方が鈴木秀子先生に教わった話）

このお話を読み、みんな誰かの「無限の光や^よ拠^{どころ}り所になることが出来る」と思いました。どんな境遇や環境に育っても、たった一人、自分を支えてくれる人に出会ったら、その人はその温かい思い出と共に幸福に生きられるんだと、、、と感じました。皆さんもどうか誰かのそういう人になってください。





港南中学校の生徒のみなさんへ

ひとりでは解決できないこと、心配ごと、困っていることがあったら、話しに来てください。相談室は、2階職員室ななめ前にあります。ひとりで悩まないで、私たちと一緒に考えていきましょう。また、周りに困っている人がいたら、皆さんのできる範囲でどうぞ助けてあげてくださいね。お友達がひとりで悩みを抱えていたら、皆さんから私たちに相談してもらってもよいし、その子と一緒に来てもらっても構いません。

“こころ”のサポーターの部屋ご案内

場所：港南中学校校舎 2階（職員室後方ドアの前）
開いている曜日：木曜日・金曜日

困っていること、悩んでいることがあったら、一緒に考えていきましょう。



保護者の皆さまへ

お子さんのことでお悩みがありましたら、お気軽にご連絡をください。

電話での相談も受け付けています（木曜日・金曜日）

★ご予約は下記に★

職員室代表電話番号：03-3471-0238（副校長、学年担当）
“こころ”のサポーター直通電話番号：03-5462-9100（木・金）
※ “こころ”のサポーター以外の者が出る場合がありますが、ご容赦ください。すぐにお継ぎいたします。

